

発行日
2018年1月発行発行所
福井市田原1丁目13番6号

公益社団法人福井市シルバー人材センター

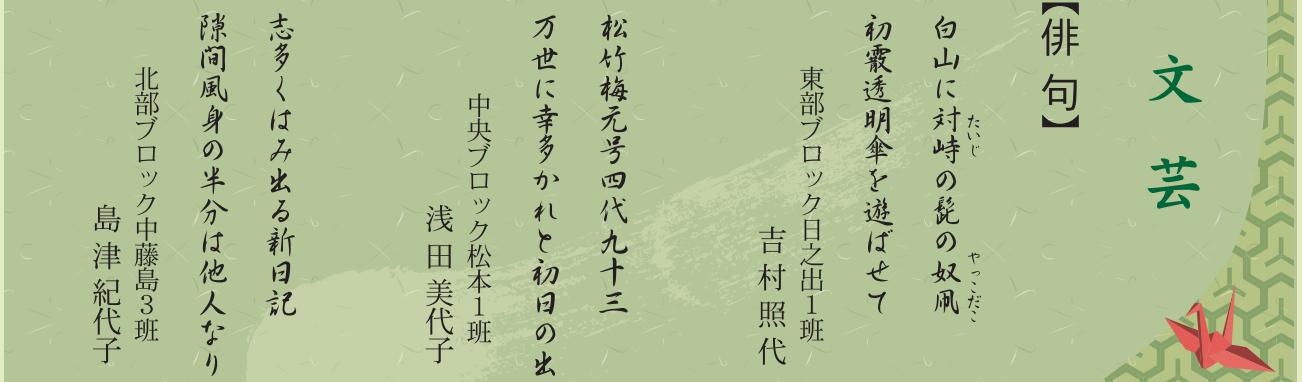
編集委員会

電話 0776(27)0701
FAX 0776(27)0779

あ・じ・さい

会員数(H29.12.31現在) 男性 1,236名 女性 931名 合計 2,167名

地域と手を取り合って
あたたかいこととはじめよう!



成年の主な出来事



1946

【新語・流行語】
赤/バット・青/バット
ニューフェイス

昭和21年

- 昭和天皇の人間宣言
- 日本国憲法公布
- 第1回国民体育大会開催
【県内】
- 行政区、学校区を整理
- 県が戦後復興資金募集のため「ふくふくくじ」を発売

昭和33年

- 日清食品が世界初のインスタントラーメン（チキンラーメン）を発売
- 皇太子（明仁親王）と正田美智子さんの婚約発表（ミッチャーム）
- 1万円札（聖徳太子の肖像）を発行
【県内】
- 乾徳高校が福井商業高校と改称
- 岡島美術記念館（現 県立美術館内）が福井市宝永に完成

昭和45年

- 日本万国博覧会（大阪万博）開催
- よど号ハイジャック事件発生
- 東京銀座で歩行者天国を実施
【県内】
- 大名町交差点の地下道が完成
- 福井市の人口が20万人を超える

1970

【新語・流行語】
ウーマン・リブ
三無主義

平成18年

- 世界推計人口が65億人を突破
- 日本の65歳以上の人口の割合が世界最高に
- 秋篠宮悠仁親王が誕生
【県内】
- コシヒカリ育成50周年
- 4市町村が合併し、「新福井市」が誕生

2006

【新語・流行語】
イナバウアー
格差社会

平成30年 戊年の年明けを迎えることができました。

機関紙「あじさい」は今年もシルバー人材センターの情報発信と、会員皆様の仲間つくりの一助となるよう挑戦を続けていきたいと考えております。

世の中の激変のスピードは目を見張るものがあり、福井の街を無人の自動車が走る日もそう遠くはないことでしょう。しかし、年男・年女の方々のコメントの中では「感謝・健康・仲間・趣味・孫」の言葉が目に留まります。生活の中にロボットが入り込むことも必要ですが、その中で人間は「人とのつながり」を求めてやまないこともあります。

今年も一期一会の「出会い」を大切にしていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いします。

(田村和子)

編集委員 泉鏡子 清水光重 田村和子 中島秀策 牧野良一 山本靖夫 (50音順)



安全・丁寧・確実・誠意をモットーに

冬の養浩館庭園
撮影:牧野良一(会員)



新年のごあいさつ

理事長 高山 浩充

明けましておめでとうございます。

会員の皆様をはじめ関係者の皆様方には、お健やかに平成30年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、当センターの事業運営に温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、今年は福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会が開催されます。福井での開催は、昭和43年の明治100年記念・福井親切国体以来、50年ぶりとなります。

当時私は中学1年生で、国体旗リレーのメンバーに選出されたことが嬉しくて、好きだった野球会場に夢中で何度も足を運んだことを覚えています。野球やソフトボールなど予想を上回る活躍により念願の総合優勝（天皇杯）を獲得しましたが、熱氣溢れる応援や花いっぱい運動など、市民の皆様の大きな支えがあったことは言うまでもありません。福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会の成功に向けて、当センターといたしましてもボランティア活動とともに、会場運営関連業務に積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、会員の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

ところで、近年、シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化しております。ご承知のとおり、シルバー人材センターはこれまで高齢者の方々の居場所と出番を作り、生きがいの創出や社会参加の促進を通じて地域社会の活性化を図る大きな役割を果たしてまいりましたが、少子高齢化や人口減少が今後ますます進展し人生100年時代を迎える中で、その役割はますます重要となり大きな期待が寄せられています。

私は、シルバー人材センターの会員の皆様は『家族』であり、『宝』であると思っております。「自主」「自立」「共働」「共助」の理念のもと、家族が第二の人生を市民に愛され豊かに生き生きと活躍できるよう、役職員と会員の皆様がともに考え工夫し、発展し続ける魅力あるセンターブルクリに力を合わせて頑張りたいと考えております。

結びに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ

福井市長 東村 新一

あけましておめでとうございます。

公益社団法人福井市シルバー人材センターの会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

近年、日本の平均寿命は伸び続けており、平成28年には女性が87.14歳、男性が80.98歳で共に過去最高となりました。高齢化率の上昇に伴い、平均寿命より健康寿命を伸ばすことへの意識・関心が高まっています。高齢者がこれまでに培った経験と知識を活かし、いきいきと働く姿は、次世代の希望となり、長寿社会の発展に繋がってまいります。

このような中で、健康で生きがいのある生活の実現に向け、多様な働き方を提供し、地域社会に貢献している貴センターは、今後さらなる活躍が期待されております。平成28年に改正された「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」では、会員の働き方の要件が緩和され、指定する業種・職種について最大週40時間までの就業が可能となり、これまで以上に業務の拡大が進んでいくものと考えています。

また、貴センターでは、介護保険事業で、福井市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業への参画や、地域で高齢者が安心して暮らすための「地域生活サポート（ワンコインサービス）事業」が、順調に実績を伸ばしていると伺っております。引き続き、地域社会を支える担い手の一員として組織の強化を図っていただくとともに、会員の増加にも取り組んでいただくことを願っております。

今年は、いよいよ福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会の開催を迎えます。会員の皆様には積極的にボランティア活動に参加し、選手・監督を始め福井を訪れる方々を、つるつるいっぱいのおもてなしで迎えていただきたいと思います。また、平成34年度には北陸新幹線が開業するなど、今後も福井が全国に注目されます。本市としましても、福井の魅力を全国に発信するとともに、市民の皆様が福井を「みんなが輝く・全国に誇れる市」だと感じていただけるように、全力を尽くしてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年が会員の皆様にとって幸多い年となりますよう、また、公益社団法人福井市シルバー人材センターがますますご発展されることを心から祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。



年男・年女の抱負

今年は戌年。年男・年女の皆さんに次の3つの質問に答えていただきました。

- ① 健康面で気をつけていること
- ② 昨年(平成29年)印象に残ったこと
- ③ 今年、是非挑戦したいこと

年男、ワンと元気でいきいきと

中央ブロック順化1班 郡谷 吉彰

- ①とにかく歩くように心がけている。朝の健康体操を習慣づけたい。
- ②シルバー行事の参加者が少ない。何事にも興味を持つて参加し、楽しんで欲しい。
- ③データベースに挑戦。事務の合理化、脳刺激にもなる。自信度50%、やらなきゃならんワン。

認知症にならないよう生涯元気

東部ブロック円山3班 中嶋 安子

- ①歩くこと。一日30種類を目標に食べること。筋力がつくように体を動かす。
- ②ひ孫ができたこと。
- ③今の趣味(ちぎり絵)を大切に、人の前に出せるようにがんばります。

第二の人生をシルバーの仲間たちと楽しもう

西部ブロック日新2班 坂井 敏彦

- ①血圧のくすりを一日も欠かさず飲み続けて20年。血圧は下がってもくすりは一生飲み続け、食事の薄味に馴れるよう努力しています。
- ②趣味の手品で、レパートリーが30種類になったこと。
- ③ハーモニカとギターを同時に演奏すること。

継続は健康の源なり

南部第1ブロック木田3班 宮本 薫

- ①朝1時間のストレッチ、腹筋、腕立て伏せなど、日々のトレーニングを継続すること。
- ②野菜作りは期待に夢ふくらませたが、台風によって大根、白菜等が流されたこと。
- ③健康で、仲間と一緒にバイクで滋賀県や富山県に出かけたり、自転車で桜を見に行けるように、体力作りに努める。



日々、生き生きと

南部第2ブロック社北1班 坪川 孝治

- ①畠仕事、鍬・鎌を使って体を動かし、収穫した季節の野菜を食べる。
- ②孫達の成長、大学に進んだ孫とのライン交信。
- ③好きな俳句を日々楽しむ。

川霧の彼方にかすむ国見岳
たのしみは孫と絆のラインする



健康が第一で感謝の気持ちを忘れずに

北部ブロック森田3班 野坂 君子

- ①ほぼ毎日、朝早く起きてウォーキング、自分なりの体操、ラジオ体操をしている。
- ②孫は4歳と1歳半になり、発表会や運動会等を見に行った。大きい子は自己主張するようになったこと。
- ③孫の成長を楽しみながら楽しい人生を送りたい。また、食事に注意しながら健康に過ごしていきたい。



感謝と融合を信条に

足羽ブロック酒生2班 清水 啓二

- ①あまり丈夫な方ではないので、肉、魚、野菜をしっかり摂り、朝からよく動くこと。
- ②1年を通してお客様と接し、会員のチームワークで即対応できることに生きがいを感じています。
- ③無病息災で、平成30年と私の年男(84歳)を1月1日よりスタートしました。



自分の健康

清水越廻ブロック越廻班 久保 一雄

- ①早寝早起きに心掛ける。
- ②仕事があまりよくできなかったこと。
- ③75歳までは仕事ができるように、まだまだ元気にがんばります。



公平無私

美山ブロック美山班 山本 貴美夫

- ①家庭菜園で心地よい汗をかく。
- ②遺跡発掘作業で多くの人と接することができ、勉強させてもらえた。
- ③今までやってきたことを、続けていきたい。

